

2005.10.05

自治医科大学 中医学セミナー



後藤学園中医学研究部 兵頭 明

■ 講義内容

STEP 1 ・中医学の考え方と生理観、照応関係を中心に紹介する。

STEP 2 ・病理病証の法則性<総括表>を交えつつ、テーマ毎の臨床各論を紹介する。

STEP 3 ・病理病証の法則性<総括表>を交えつつ、テーマ毎の臨床各論を紹介する。

STEP 4 ・鍼灸処方の作り方。漢方と鍼灸の処方関係について紹介する。

■ STEP1

【一般目標】

1. 中医学の全体像を把握する。
2. 中医学の思考方法を理解する。
3. 診断治療システム<弁証論治>を理解する。
4. <五臓>を中心とした中医学の<整体観>を理解する。
5. <弁証論治>に必要な診察内容を理解する。

■ STEP1

【行動目標】

1. 中医学に関して、基礎的な説明ができる。
2. <五臓>の生理機能と、照応関係について説明できる。
3. <五行スコア>から<病位>の情報を問診できる。
4. 紹介する<穴位(ツボ)>を正確に<取穴>し、刺入後に<得気>できる。

■ 参考

『看護のための最新医学講座』
33巻:Alternative medicine
2002年, 中山書店, 日野原重明/監修
(p62~p69)

■ 一、中医学とは

中国伝統医学 [Traditional Chinese Medicine]

1. 整体観
2. 弁証論治

■参考

世界の鍼灸治療の動向

1.『ネイチャー』の報道

「鍼灸治療は脳の活動を活発にする」

2.“Dラボ”情報

「豪州初のがん患者に対する臨床研究で検証された鍼灸治療の有効性」

「病院が「代替医療」を提供するのは”常識”」

■二、中医学の基本的な考え方

- 1.人と自然の統一観
- 2.人体の統一観(五臓を中心とした統一観)
- 3.弁証システム
- 4.鍼灸と漢方の弁証論治システム

■二-1.中国伝統医学の身体観

人と自然の統一観

哲学観、自然観、整体観
身体観、疾病観、治療観

五臓を中心とした統一観

■二-2.五臓を中心とした統一観

[五臓の色体表]

| 自然界 | | | | | | | | | | 人体 | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|
| 五行 | 五色 | 五音 | 五味 | 五果 | 五畜 | 五穀 | 五方 | 五季 | 五行 | 五臟 | 五腑 | 五主 | 五官 | 五華 | 五液 | 五志 | | | |
| 木 | 青 | 角 | 酸 | 李 | 雞 | 麥 | 東 | 春 | 木 | 肝 | 胆 | 筋 | 目 | 爪 | 淚 | 怒 | | | |
| 火 | 赤 | 徵 | 苦 | 杏 | 羊 | 黍 | 南 | 夏 | 火 | 心 | 小腸 | 脈 | 舌 | 顔 | 汗 | 喜 | | | |
| 土 | 黃 | 宮 | 甘 | 棗 | 牛 | 稷 | 中 | 長夏 | 土 | 脾 | 胃 | 肉 | 口 | 唇 | 涎 | 思 | | | |
| 金 | 白 | 商 | 辛 | 桃 | 馬 | 稻 | 西 | 秋 | 金 | 肺 | 大腸 | 皮 | 鼻 | 毛 | 涕 | 憂 | | | |
| 水 | 黑 | 羽 | 鹹 | 栗 | 豚 | 豆 | 北 | 冬 | 水 | 腎 | 膀胱 | 骨 | 耳 | 髮 | 唾 | 恐 | | | |

■二-3.弁証論治システム

弁証システム

四診による情報の収集が必要。

→ 中医学的な集め方の“コツ”

診察の目的 } 病因
病位 } の把握
病態(虚実寒熱)

